

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	準用河川整備						継続				
コード	24	-	71	-	03	-	00	予算事業名	準用河川整備		
担当部署	建設部		河川課		治水担当		予算事業コード	会計 10	款 08	項 03	目 01

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務			義務ではない
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち		実施計画事業名	準用河川整備		
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり		個別計画等の名称	なし		
施策	1	治水事業の推進		当事業に関連する事務事業	なし		
細施策	1	河川整備					
事業実施の根拠となる法令・条例等	河川法						

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	準用河川の整備を行い、浸水被害の解消及び地域の生活環境の向上を図る。	
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	準用河川は3路線、延長9.1kmが指定されており、未整備区間の整備工事、整備済区間の改修工事、浚渫等の維持管理を実施する。平成27年の事業開始に向けて、久保川の準用河川指定について準備を進める。	

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	51,762	44,750	41,500	34,187	42,000	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A	44,751	39,477	37,590	31,370	42,000	49,500
人件費 B	3,008	3,008	3,815	4,255	4,182	4,182
総コスト(C=A+B)	47,759	42,485	41,405	35,625	46,182	53,682
正規職員(1年間の従事人数)	0.41人	0.41人	0.52人	0.58人	0.57人	0.57人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源 E	40,200	35,500	33,800	33,300	31,500	40,500
市の財政負担(=C-D-E)	7,559	6,985	7,605	2,325	14,682	13,182

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	整備率	%	95.1	95.1	95.1	95.1	28年度 100.0
	指標の定義・説明	整備済延長/整備計画延長*100					
成果	改修率	%	41.8	48.8	57.2	63.5	70.5 29年度 100.0
	指標の定義・説明	改修済延長/改修計画延長*100(天の川)					
	指標の定義・説明						
	指標の定義・説明						
指標に基づく評価	事業費の縮小等を受け、施工延長が短くなってきているが、着実に進捗がなされている。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
準用河川は整備後年数が経過し老朽化が目立つようになってきた。良好な流水機能を保持できるように、早急に構造物等の改修工事及び安全対策を進めなければならない。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	埼玉県内では、川越市を含め50市町村が準用河川を指定し整備を行っている。
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	準用河川は各地域の幹線排水路の役割を担っており、流水の正常な機能の維持、及び河川環境の整備と保全に取り組みなくなると、公共の安全を保持することが出来なくなり、台風や集中豪雨等による浸水被害が増大し、水害から市民の生命と財産を守るとした目標達成が困難となり、市民生活に大きな影響を与える。

# 平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		建設部				河川課	治水担当	
事務事業名称		24	71	03	00	準用河川整備		
今後3年間の方向性	25年度	改善(見直し)						良好な流水機能及び河川環境の維持を図り、安心・安全なまちづくりに寄与する。久保川の準用河川指定に向けて、関係機関と協議を進める。
	26年度	改善(見直し)						良好な流水機能及び河川環境の維持を図り、安心・安全なまちづくりに寄与する。久保川の河川改修に向けて、関係機関と協議を進める。
	27年度	改善(見直し)						良好な流水機能及び河川環境の維持を図り、安心・安全なまちづくりに寄与する。久保川の河川改修に向けて、関係機関との協議を継続する。